

# 十時半睡事件帖 包丁ぎむらい 白石一郎



かわぼたまち  
川端町

ひぜんぼり  
肥前堀

あらとまち  
荒戸町

かしいむら  
香椎村

とときはんすい いち えまん そうめつけ おりえ  
十時半睡 (一右衛門 総目付) 一織江 (亡き妻)

たにまち  
谷町

ろうにんに  
浪人谷

やしちろう (息子 勘定方) 一お夏 (妻)、きちたろう (息子)

みなとまち  
湊町

じぞうたに  
地藏谷

ぎはち (若党)、さいち (下男)

だいくまち  
大工町

おおのこたに  
大鋸谷

りょうあん  
良庵 (町医者)

だいまいようまち  
大名町

ちやえんだに  
茶園谷

くろだしゅぜんはるゆき  
黒田主膳治之 (藩主)

ちぎようまち  
地行町

なかがわ  
那珂川

のむらげき (家老)

てらまち  
寺町

こまがわ  
菰川

まつばらとうじゅうろう (目付)、てらだかんざえまん (目付)

ごふくちょう  
呉服町

はな  
波奈

てんじんちょう  
天神町

げんかいなが  
玄界灘

てつぽうちょう  
鉄砲町

のこのしま  
能古島

こしょうちょう  
小姓町

しかのしま  
志賀島

すぎきちょう  
洲崎町

あいのしま  
相島

はるよしちょう  
春吉町

ちのしま  
地島

いわしちょう  
鰯町

おおしま  
大島

舌仙堂 吉兵衛 (刀剣商)

久世重太夫 (御使番)

馬杉孫一郎 (御小姓頭) — 多美 (妻)

梶原勘兵衛 (物頭 足軽大将)、お光 (娘)

梶原九郎次 (火付盗賊改め)

長尾丈平 (足軽)、猪平 (弟)

伊丹市之進 (馬廻組 勘定方蓮上係→長崎御番役) — 八重 (妻)

勘定方蓮上係 (戸田右馬助、岩永源三郎、村上又二郎、柴田清九郎)

魚辰 辰次 (魚屋)

笹岡将監 (勘定奉行→御蔵奉行)

貝原修理 (吟味役→勘定奉行)

荒木彦右衛門 (組頭)

鶴田小金吾 (御船方小船頭) — 浪江 (妻)

竹林左司馬 (御船方小船頭)

高木市助 (足軽)

伝兵衛 (島長)、さえ (娘)

神屋卯八郎 (御馬廻組夜回り) — お珠 (妻)

みつ (母)、小弥太 (弟)

建寅 寅吉 (建具屋)、おしま (娘)

鶴原大膳 (御納戸頭 お珠の父)

阿部文右衛門 (御馬廻組)、虎松 (中間)

千鶴 (妹)、お初 (母)

花房内膳 (御馬廻組)、平六 (中間)

衣笠小八郎 (御城代組御門上番) — 蓮 (妻)

土岐武衛門 (荒木流馬術師範)、達四朗 (息子)、加代 (姉)

中ノ丸五兵衛 (中ノ丸新流師範)、彦九朗 (息子)

立花金太夫 (御馬奉行)

くにえだとき えもん むそくぐみおくらかた とみたろう  
国枝時右衛門 (無足組御蔵方) — おしず (妻)、富太郎 (息子)

くにえだかんくろう むそくぐみおだいどころぶぎょう  
国枝勘九郎 (無足組御台所奉行) — おみね (妻)、お妙 (娘)

しもさかたてわき おうまわりくみ  
下坂帯刀 (御馬廻組)、つる (娘)

たちばなまたしろう おうまわりくみおかんじょうかた  
立花又四郎 (御馬廻組御勘定方)

まつおやすべ え おうまわりくみ ゆりのすけ  
松尾安兵衛 (御馬廻組御城番) — ゆり (女房)、百合之助 (息子)

ろくすけ  
六助 (下男)、おたき (下女)

てらだしんざえもん おうまわりくみ  
寺田新左衛門 (ゆりの父 御馬廻組)

やじまくろうど おうまわりくみ  
矢島蔵人 (御馬廻組) — おちざ (妻 ゆりの姉)

たかぎしづま おうまわりくみ  
高木志津馬 (御馬廻組) — おとめ (妻 ゆりの妹)

たけださだよし  
竹田定良 (朱子学者)

ありちくらのすけ  
有地内蔵允 (新陰流道場主)